

# 令和6年度 学校評価 生徒・保護者アンケート結果（7月実施）について

## 1 学校評価について

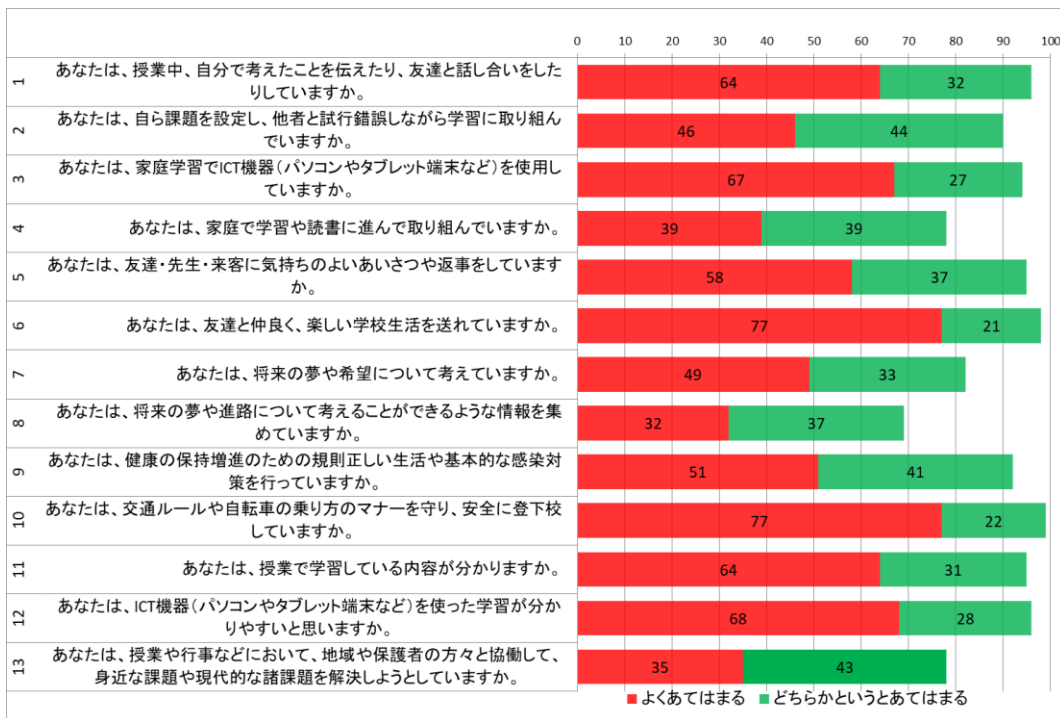
本校では、次のように学校評価を実施しています。

- (1) 生徒・保護者を対象とするアンケート調査を行う。
- (2) アンケート集計結果や自由記述の内容を基に、教職員による自己評価を行う。
- (3) 学校関係者評価や自己評価の分析から明らかになった課題を基に、改善に向けた活動を行う。

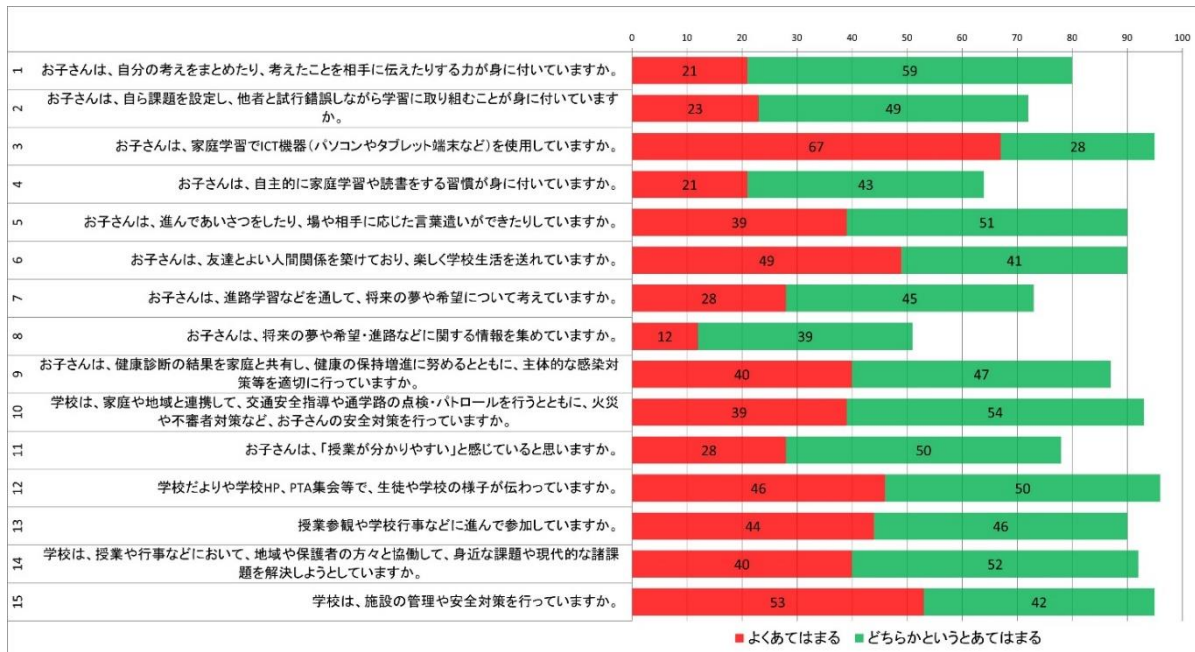
## 2 資料の見方

- (1) 配付したグラフの資料をご覧ください。アンケートの回答の「よくあてはまる」・「どちらかというとはまる」・「どちらかというとはまらない」・「まったくあてはまらない」・「わからない」のうち、「よくあてはまる」・「どちらかというとはまる」の合計の割合をグラフにしました。
- (2) 別紙の資料は、「よくあてはまる」・「どちらかというとはまる」の合計の割合が低かった項目（70%以下）について、現状や改善に向けての方針、ご協力をお願いなどについてまとめています。

### 令和6年度第1回学校評価アンケート<生徒>7月実施



### 令和6年度第1回学校評価アンケート<保護者>7月実施



「よくあてはまる」・「どちらかというにあてはまる」の合計の割合が低かった項目(70%以下)について

<保護者> **質問番号4「お子さんは、自主的に家庭学習や読書をする習慣が身に付いていますか。」64%**

自主的な家庭学習習慣の定着は、基礎的・基本的な学習内容を確実に習得や自己管理能力の向上などといった学習だけでなく生活全般においてもポジティブな影響を受け、自分の成長を実感できるようになります。本校の取組としては、デジタル課題（スタディサプリ、モノグサ等）を配信し、生徒が帰宅後に授業の内容を中心とした基礎的・基本的な復習問題に取りかかれるような取組を行っています。

読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにするなど、人生をよりよく生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。本校の取組としては、朝読書の時間に良質な近現代文学作品の冒頭部分を印刷したものを生徒に配布し、文学作品に触れる機会を増やし、読書の環境を整えています。また、情報委員が作成した学級新聞に「おすすめの本」の枠を作ったり、寄贈本を学校だよりで紹介したりと、多くの生徒が読書への興味や関心を高められるように努めています。ご家庭におかれましては、引き続き、話題となっている本と一緒に読んだり、定期的に本を読む時間を設けたりするなど読書の習慣付けを図り、今後も読書に対する興味や関心を引き出すような働きかけにご協力をお願いします。

<生徒> **質問番号8「あなたは、将来の夢や希望・進路などに関する情報を集めていますか」69%**

<保護者> **質問番号8「お子さんは、将来の夢や希望・進路などに関する情報を集めていますか」51%**

キャリア教育・進路学習の充実は、生徒の社会的・職業的自立に向け必要となる能力や態度を育むために大変重要であると考えています。進路の選択や将来設計は、中学校卒業後の就職や進学についての意思決定をすることがゴールではなく、常に将来設計を描き直したり、目標を段階的に修正したりして、自己実現に向けて努力していくことが大切になります。

本校では、以下の点を大切にして、指導を行ってまいります。

#### ① 「未来創造科」での探究的な学びの充実

生徒が社会に出る頃には、より予測困難な時代になります。そのような社会において必要な、各教科での学びを統合して発揮する力、実現したい未来に向けて多くの人々と協力して課題の解決に取り組み続ける力、学びを振り返って自分の生き方や未来について考える力などを、未来創造科の学習を通して身に付けていきます。これにより、生徒が自己実現に向けて「今なにを探究すべきか」を明確にし、取り組んでいけるように支援していきます。このような探究的な学びが主体的に情報を集める力を身に付けさせていけると考えています。

#### ② 教育相談の実施

生徒と定期的に教育相談を行い、進路や将来の目標について話し合います。また、生徒一人一人の興味や適性を考慮した進路相談を行い、将来の夢や希望・進路などに関する情報を共有していきます。

#### ③ 自己理解の促進

##### ○キャリア・パスポートの活用

年5回程度、将来の自分の見通しや夢について考え、振り返りを行っていきます。自分自身の考え方の変化に気づき、自己理解を深めていきます。また、自分の興味や価値観、能力などを考えることで、自分自身の理解を深めることができます。これにより、自己成長や自己実現に向けた解決策を考えられるようにしていきます。

#### ④ 選択肢の創出

##### ○職業や自分の将来について考える機会の設定

職業教室、進路講演会や合格体験講話などを通して多様な職業や進路の情報を手にすることで、生徒は自分に合った選択肢を広げ、自分の興味や価値観、能力などと照らし合わせ、よりよい生き方や進路を見つけることができるようにします。

##### ○情報提供の充実

進路情報のデジタル化により最新の進路情報を提供します。また、各上級学校のウェブサイトを紹介し、生徒や保護者がいつでもアクセスできるようにします。

これらに則って、学級活動、道徳科や未来創造科を中心に自分の生き方を見つめる機会を設けます。これらの取

組により、生徒自身が自分の将来について真剣に考え、適切な進路選択を行えるようサポートしていきます。また、生徒や保護者の方から進路についての疑問や悩み・不安を聴き、一人一人に合った適切な支援ができるよう、PTA 集会や三者面談、進路通信等の機会を通して、進路に関する適切な情報を提供していきたいと思ひます。ぜひ、分からないことや不安なことなどがありましたら、お気軽に職員にお問い合わせください。ご家庭でも将来の一人一人の社会的・職業的自立に向け、共感的理解を示しながらも親の思いや意見はしっかりと伝え、面談や成績プロフィールへのコメントなどを機会として親子の対話を設けていただければと思ひます